



「素晴らしい映像を
たくさんの人たちへ」

鈴木^{しげお}茂男さん
(小松一丁目)

11月1日(土)から9日(月)まで県内で開催される国民文化祭は、全国で活動している文化・芸術活動の愛好者や団体が一堂に会して、音楽や演劇、伝統文化の競演を繰り広げる。また、一般公募により出品された文芸や美術作品の展示、さらに開催地独自の文化・芸術イベントなどを行う、国内最大の文化と芸術の祭典だ。

鈴木さんは、市内で開催される映像文化フェスティバルの企画委員会の委員を務め、全国から応募された約150本のビデオ映像作品のうち、11月3日(月)に市民会館で上映される映像作品コンクールの入賞作品8本を選ぶ審査に携わった。「2日間で1本約10分以内の作品をすべて見ましたが、20代から60代までの方が、風景や人、動物などをテーマに撮った映像は、どれも素晴らしく、時間があつという間に過ぎました」と笑顔で話す表情は、今年で84歳になるとは思えないほど若々しい。

自身も土浦ビデオカメラくらぶの会長を務め、16年前から会員たちと花火競技大会やキララまつり、からかさ万灯などを撮影し、自ら映像を編集して鑑賞会を行うなどの活動を続けている。「10年前から、自宅のパソコンで編集もしています。最近は、便利な機能が増えたので編集するのが楽しいです」と淡々と語るので驚かされた。「入賞作品は、どれも感動するものばかりなので、たくさんの人たちに見てもらいたいです。また、良い作品を見ることで、より多くのビデオカメラの愛好者が増えて欲しいです」。鈴木さんの映像にかける情熱は、いくつになっても衰えることを知らない。

子ども作品展



荒川沖小6年
遠藤^{みずき}瑞帆さん



荒川沖小6年
深谷^{はるか}遥さん



「わっしょい わっしょい」
荒川沖小6年
樟山^{しょうた}将大さん



「わっ、お祭りだ〜。」
荒川沖小6年
荒木^{わたる}涉さん

